

新刊注文票

注文FAX 048-432-7335			
氏名:	住所:	電話:	Fax:
〒			
新書版 156頁		注文数	
定価: 本体 1300円+税		部	
2004年11月1日発行			
<p>日本僑報社刊行した主な書籍</p> <ul style="list-style-type: none"> 『中国のインターネットにおける対日言論分析』 『日中「新思考」とは何か』 『中日関係に対する戦略的新思考』 『「対日新思考」論議の批判的検討』 『中国人特派員が書いた日本』 『永遠の隣人 -- 人民日報に見る日本人』 『日中相互理解とメディアの役割』 『日中ホンネで大討論!』 『中国人の見た日本』 『日本華僑華人社会の変遷』 『中国人の日本奮闘記』 『中国の1万2967人に聞きました。』 『私が出会った日本兵』 『つくる会の歴史教科書を斬る』 『新中国に貢献した日本人たち』 			

中国共産党・国家・軍を動かす 胡錦濤の対日政策

— 歴代指導者が語った「日中関係」 —

前中国社会科学院日本研究所副所長 馮昭奎 東京新聞中国総局長 鈴木孝昌 共著



馮昭奎
1940年中国・上海生まれ。1965年清華大学電子学部を卒業後、エンジニアを経て、1983年より中国社会科学院日本研究所に勤務。研究室主任、副所長を歴任、現中国全国日本経済学会副会長、中国中日関係史学会副会長。著書に、『中国の「対日新思考」は実現できるか』など多数。



鈴木孝昌
早稲田大学第一文学部卒。1985年中日新聞社（東京新聞）入社。93-94年、北京語言学院で研修。經濟部、外報部などの勤務を経て96-99年香港支局長。2002年1月から東京新聞・中日新聞 中国総局長。

ISBN 4-931490-98-0

共産党トップに十三年間、軍のトップに十五年間君臨した長老、江沢民が中央軍事委員会主席を辞任し、後任に胡錦濤副主席が昇格した。胡錦濤はこれで党総書記、国家主席、军委主席の三権を完全に掌握。毛沢東、鄧小平、江沢民に次ぐ第四世代の核心指導者としての地位をようやく固めた。党総書記就任から二年、江沢民という重石の存在によって実質的権力の掌握ができなかったため、胡錦濤が目指す政策はまだ明確になっていない。内政・外交ともに真の胡錦濤カラーが打ち出されるのはこれからだ。対日関係では江沢民がことあるごとに歴史問題を持ち出し、反日的イメージが強かったのに比べ、胡錦濤は未来志向の実務的な対日政策に取り組むだろうと期待されている。だが、胡錦濤自身が対日政策を公に語ったことはほとんどなく、どのような方針を打ち出すかは不透明な部分が多い。日本の将来にも重大な影響を及ぼす胡錦濤の対日政策とは如何なるものか。胡の対日観はどこから生まれ、どこへ向かおうとしているのか。（第一章より）



9月22日、胡錦濤国家主席が河野洋平衆議院議長と会見し、中日関係問題について重要な談話を行った。

十一年九月九日閉幕
に九日
した
国共
党中
六期
央委
会員
回全
公議

目次

第一章 中国の最高指導者 胡錦濤の対日政策 鈴木孝昌 ◆一 恩師・胡耀邦……出発点……日本に学ぶ……暗転◆二 ポスト江沢民……二度目の訪日……江沢民の怒り……小泉訪中への条件……温家宝のメンツ◆三 戦略的關係……5つのキーワード……対日新思考……胡錦濤のブレーン◆四 揺れる日中関係……関係改善へのサイン……サッカー反日応援騒動……青年と愛国主義……かぎは「靖国」に

第二章 鄧小平の外交思想をしっかりと継承し発展させよう 馮昭奎 ◆一、鄧小平理論と「三つの代表」……◆二、中日両国の貿易関係および各分野の協力的発展を守るよう……◆三、保守化する日本への対応 日本国内の平和的対中友好勢力を獲得……◆四、真摯に歴史問題解決にあたり、中日関係の大局を見る……◆五、対日外交は中国外交のポイントであり、対日外交は責任重大で前途多難である

第三章 中国の歴代指導者の中日関係に関する論述 馮昭奎 ◆一、毛沢東：「われわれ二つの民族は、今や平等となった」……◆二、周恩来：「日中両国の工業化こそが、平和な共存共栄への唯一の道である」……◆三、鄧小平：「日中間の『友好』の重要性は、あらゆる『問題』のそれを超えている」……◆四、江沢民：「日中友好は結局、両国民の友好に尽きる」

付録 ◆一九七二年の共同声明 ◆一九七八年の平和友好条約 ◆一九九八年の共同宣言